



高嶺の花に
口付けを

R18

小狐丸 × 三日月宗近

簡単に見つかると思っていたが

——今日も
駄目だったか

現実には中々難しい物だな……小狐よ

お前に会いたい

……見つけた……





小狐！



あ…
お前、記憶はあるか？
俺が分かるか？

俺は—



小狐丸だな？

記憶なら
心配はいらぬ

久々に見た
お前の姿に見惚れて
気選れたのだ

会いたかったぞ
三日月！っ！

あ！
三日月さんの
探してた刀の
見つけたんだね

ああ
兄弟みたいなモン
だしなアイツら

それより
三日月

もっとよく顔を
見せてくれ

小狐！
お前に会えるよう
ずっと念じてたぞ

私はその想いに
導かれてきたようだ



さすがは天下五剣

やはりお前は昔と
変わらず美しいな



同じ三条として
誇りに思うぞ



相変わらずだな
小狐
そんなに褒めても
何も出ないぞ



これからは
ずっと一緒に
居られるんだな

ああ
三日月の傍に
居るぞ



笑うと愛らしい
所も全く変わらぬ



うん…
ありがとう
鶴おじさん

あ!?
「お兄さんの
間違いだろ光忠!

えええっ!?
だって鶴さん
僕よりかなり年上…

俺は永遠に
お兄さんだ
驚いたか!



いいなあ…
僕も昔の仲間
早く会いたい…



すぐに見つかると
俺に任せておけ
これでも部隊長だからな

全く眠れないまま
朝を迎えてしまった

三日月に触れた
あの日から
心が落ちつかない

.....

一度は諦めかけた
恋心が
走馬灯のように
頭を駆け巡る

昔と違い
今は触れる事が
出来る体がある

—お前に触れたい—

小狐いつ
起きてるか？

ドキッ
〜



どうした?

今日は畑の内番を
する日であろう
早く着替えぬか

先ほどまでの
妄想が撃破されて
しまった!!

み、三日月……
天下五剣の麗しさは
どうしたのじゃ……!!

オシャレは
苦手だな



駄目絶対駄目
却下!

この服いいぞ
動きやすいぞ
通常服もこれに
するかなあ



……なるほど

むう

雑草取り
くらいは……



ところで……
三日月は畑仕事
出来るのか?





それは他の
刀達も同じ事…

昔と違って今は
お前に触れる事が
出来る



私のものになれ
三日月

お前を誰にも
触れさせたくない



やっぱり
慣れない仕事は
難しいな

小狐…?
どうした、
黙ったまま

疲れたのなら
そろそろ休むと
しようか



…三日月
私はお前を
昔から好いておる



お前が欲しい



?
俺も小狐の事は
好きだぞ

そういう意味
ではない

お前を狙う奴が
他にもいるのなら



開落ちしてでも
お前を奪い取って
みせようぞ

小狐…俺は…



天下五剣の尊厳を
維持するために
常に美しさと強さを
強要され

部屋の奥底で静かに
囲われてきた――

俺を求めて大量の
血が流れる様を
黙って見送ってきた

やがて俺の存在は
守るはずの主の
命までも奪って
しまい――

…俺は恋を知らぬ
世間という物もよく
分からぬのだ

凍ってしまった
小狐の言葉に共鳴
している

記憶はあっても
心の破片が欠けて
しまったようだ
…すまん



はあ……

何だ何だ？
落ち込んでるじゃ
ないかこいつは
驚きたぜ

やれやれ！
平和なジジイじゃ

んだと！

可愛くねえ
狐だな！
こうしてやる！

ぐしゃ

ぐしゃ

やめい！

どうせ三日月と
ケンカでも
したんだろ？

……ケンカではない

話せよ
お前の核が
散つてると戦場で
面倒だ

……

—なるほどなあ
でも三日月はお前が
本丸にまだ居ない時

一人寂しく
泣いているのを
見かけたぜ



心配せずとも
十分お前の事が
好きだろ

不安なのじゃ！
三日月は誰に
対しても
好きだと言うで
あろう



余裕ない奴だな
じゃあ
試してみるか？



小狐も鶴丸も
何をしておる
そんな隅っこで…



お！

退屈だから本丸
抜け出して
花街でも行こうと
思ってたな



三日月に内緒で
小狐丸と
二人きりで

何を…





協力して
やったから明日の
馬番は交代な!



おい……
どうしてくれる

何だ?
いつものあいつなら
笑顔で流すのに
見ただろあの反応

それだけお前には
本気だつて事さ
お前も鈍いな



三日月!?
ちよつと待て



三日月の機嫌
取るのが
大変じゃ……

……良からう



あ



三日月!

待てと言うて
おろう!



三日月!
話を聞いてくれ

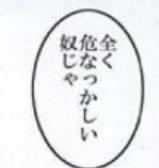
……



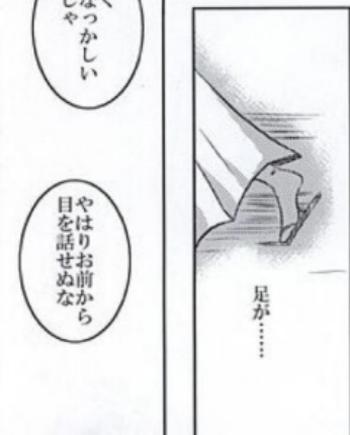
!!

さっきのは
誤解だど!

三日月!!



全く
危なっかしい
奴じゃ



足が……



ッ

ズキッ



妬いてくれた
のだな
三日月よ

……っ!?



大丈夫か?

抱きあげたなら
やろうぞ



自惚れるな!
誰が妬くか
くだらぬ

何処にでも
勝手に行けば
よからう!!

では何故
怒っておる
お前らしくもない

!



それが恋心じゃ
三日月



お怒って
おる
かわいい奴じゃ!!

キエツシ

ふむ…

でも
両想いだからと
言っただけ

関事はまだ
駄目だ

どうして…

心の準備が
出来たら恋文を
送る
それまでは待て

何と愛らしいのじゃ
私の三日月は!!!

このモヤモヤする
気持ちには恋心なのか
…?

鶴が出掛けるのは
何も思わなかったのに
お前も一緒に行くのは
嫌だった…

そうか…
これが恋心

改めて真面目に
照聞かれると…!!

で、では
俺とお前は両想い
というやつか?

そ…
そうじゃな



何世紀でも
待ってやるから
両想いの証として

口付けくらい
許してはくれぬか？

…横わないが
俺はどうすれば
良い？

!?

め、目を…
閉じておれ

息は？

しても
良い…

初めてなのか…？

…

ふむ…
あいわかった

ギョッ

長い睫毛が
震えておる

愛らしい奴じゃ…



ずっと…
憶っていた

愛しておろそ
三日月

ん…

し、舌が…!!

—っ

うん…っ
っ

三日月?

い、息が出来ない
限界—!!

……

んんん…!!

どうした!?

：キスというのは
中々難しい物だな

ところで
小狐は何故キスが
上手いのだ？

野生ゆえ

慣れるまで何度も
私が教えてやろうぞ
明日から毎日だ

：答えぬのなら
恋文は送らぬ！

み、三日月!!

呼吸が止まって
どうかなりそう
だったぞ…



ん……

小狐……？
何を……っ？
あ！

やめ……っ

少しお前の体を
調べてやろう

よせっ

何もしないと
約束した……のに

いん……
らん……
かにも箱入り
らしい反応じゃ

今の……お前には
い……やだっつのは

触られるのが
好きではないの
か？

……
見るな！

ほお
少し美しいな
だけ
良い反応じゃ

このまま最後まで
抱いてしまおうのも
容易だが

う……っく

ビク
ン
ッ

っ！

もうしばらくは
お前の初々しい
反応を楽しむ事
にするか

ん！

ふふ……早いな
やはりお前は
愛らしい

は……あ……っ

お前が一度も
愛していると
言ってくれない
のが
悪いのじゃ

それとも……
焦らしてやる
のか？

あっ！

や！

——
っ！！

そんなもの
舐めるな!!

ふむ…
やはり触るだけでなく
物足りない

次はじっくりと
その肌を味わうと
しよう

ゆ…夢…う…
夢か、夢なんだな!!

!!??

っ!!



ど、どうした
怖い夢でも
見たのか!?

な何でも
ないっ

泣いてるでは
ないかいそうに
一体何が…



ちよっと
後向け

?



カアッ



ん…三日月…
もう朝か?

「お前は一度も
愛してると言ってくれない」

.....



あゝ愛して
いるぞ

小狐



寝る



三日月!!
寝起きでほおっと
していたから
もう一度言ってくれ

嫌だ
もう眠い

三日月——っ

——え?



高嶺の花に
口付けを

